

(様式2)

## 学校関係者評価報告書

(南宇和高校)

学校番号( 44 )

評価実施日		令和7年2月17日(月)	
委員	氏名	所属等	備考
		農業関係者 農家	
		学識経験者 元小学校長	
		地域中学校長 愛南町立御荘中学校長	
		地域代表 愛南町教育委員会学校教育課長	
		保護者代表 P T A 役員	

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p><b>1 学校経営</b> ホームページをはじめ情報発信が良くできている。ただ内容が学校行事中心なので、日常の様子をアップするとより良い。欠席に関しては、改善方法にあるように評価基準、具体的目標を見直しするとよい。加えて欠席者の背景にある体調管理以外のことにも支援をお願いしたい。 愛南町との連携はよくできている。今後も南高の良さを地域に情報発信し続けてほしい。</p>	<p>愛南町との連携は大変ありがたく、学校の魅力化につながっている。今後も、継続して連携をし、様々な方面へ情報発信をしていく。 皆勤率の向上については、来年度は目標の意義を検討し、評価方法を変更する予定である。</p>
<p><b>2 学習指導</b> 先生方の指導のおかげで家庭学習の充実・基礎学力の定着の評価が高い。ただ生徒の家庭学習への取組評価が低いので、家庭学習時間の少ない生徒への支援・習慣化をお願いしたい。ICT機器の活用は、生徒たちがさらにスキルアップするようお願いする。</p>	<p>国公立大学への合格も出ており、進学・就職ともに手厚く指導していることを、対外的にも情報発信することが大切である。 ICT機器の使用は、研修を重ね、今以上にスキルアップを目指す。</p>
<p><b>3 生徒指導</b> 生徒の評価から、学校行事の充実、部活動の積極的参加など、学校生活の充実が伺える。今後も一人一人に寄り添った対応をお願いする。 家庭環境の厳しい生徒さんもおられるが、本人自身も気づいてないこともあるかもしれないので、生徒の状況確認をお願いしたい。 部活動などで以前は小中高の連携があった。これも今後、教員間で連携がとれたらいいと思う。</p>	<p>学校行事、部活動、生徒指導全般に、今後もきめ細かく計画をし、一人一人に寄り添う指導を心掛ける。 生徒の状況確認については、家庭環境の把握に努め、ケース会議や町の支援員、連絡会などとも連携をした指導を続ける。 小中高の連携についても、中高連絡会等を活用したい。</p>
<p><b>4 進路指導</b> 生徒の希望に沿った進路指導のため、生徒たちの学力アップ、能力アップができるよう、個に応じた指導をお願いしたい。また叶夢センターのスタッフの方との連携をさらに密にし、一緒に生徒さんを支えてほしい。</p>	<p>公営塾に位置する「叶夢センター」との連携を今後も密に行い、一人一人の進路指導に生かしたい。進学以外の進路希望へもしっかり対応できるよう、進路課を中心に対応する。</p>

## 5 心の教育

心の教育に関する評価は、教職員、生徒ともに高いが、保護者の評価が低い。交流学习会への参加や先生方の大森文化会館への参加など積極的な取組は今後も続けてほしい。

読書の評価が低いので、質問方法あるいは読書活動の保護者への啓発をご検討ください。

## 6 地域連携

地域資源の活用や地域交流、地域貢献は、ホームページ、南高通信、CATV放送、新聞などでよく見聞きする。素晴らしい結果や生徒たちの自己肯定感の高揚、特に農業科の生徒の活動は、地域の活性化にもつながっていると思う。

地域のボランティア活動へも生徒さんの積極的な参加は、スタッフにとっても良い刺激でした。

小中学校との交流も特定の学校に片寄ることなく、いろいろな交流をお願いしたい。

今後は全国募集着手が考えられるが、何を学校の魅力とするか、町と学校ですり合わせが必要である。

## 7 業務改善

いつ訪問しても校舎内外の環境美化が整っている。生徒たちの取組、教職員の気づきのおかげと思う。

令和7年度からの長寿命化の施設工事等では、騒音等が心配されます。可能な限り学習環境への配慮をお願いしたい。

業務改善は思うようにならないこともあるかと思うが、長時間勤務、過重労働にならないようにしてほしい。特に、部活動休養日の評価が、生徒、保護者、教職員ともに高くなることを望む。

愛南町内の人権関係の研修も教職員も含めて、今後も積極的に参加していく。保護者への啓発も、人権だよりをはじめ様々な方法で行いたい。

図書館活動については、生徒への活動促進だけでなく、保護者にも見える工夫をしたい。

今後も各方面への啓発活動になるよう、情報発信とその連絡をしていきたい。特に農業科については、地元との連携が多いので、しっかり地域から評価される活動にしていきたい。

今年度もボランティア活動や防災地理部の活動、地域振興研究部による交流など活動で来た。今後も継続していきたい。

今後、学校の魅力化については愛南町と連携を取り、推進していきたい。

校内外の美化活動は、生徒たちの活動成果なので、今後も継続して行いたい。

長寿命化計画については、県の担当者と綿密に打ち合わせており、今後も支障がないように行いたい。

業務改善は、教職員に呼びかけて、ワークライフバランスを取りながら、充実感を持った勤務ができるよう配慮したい。